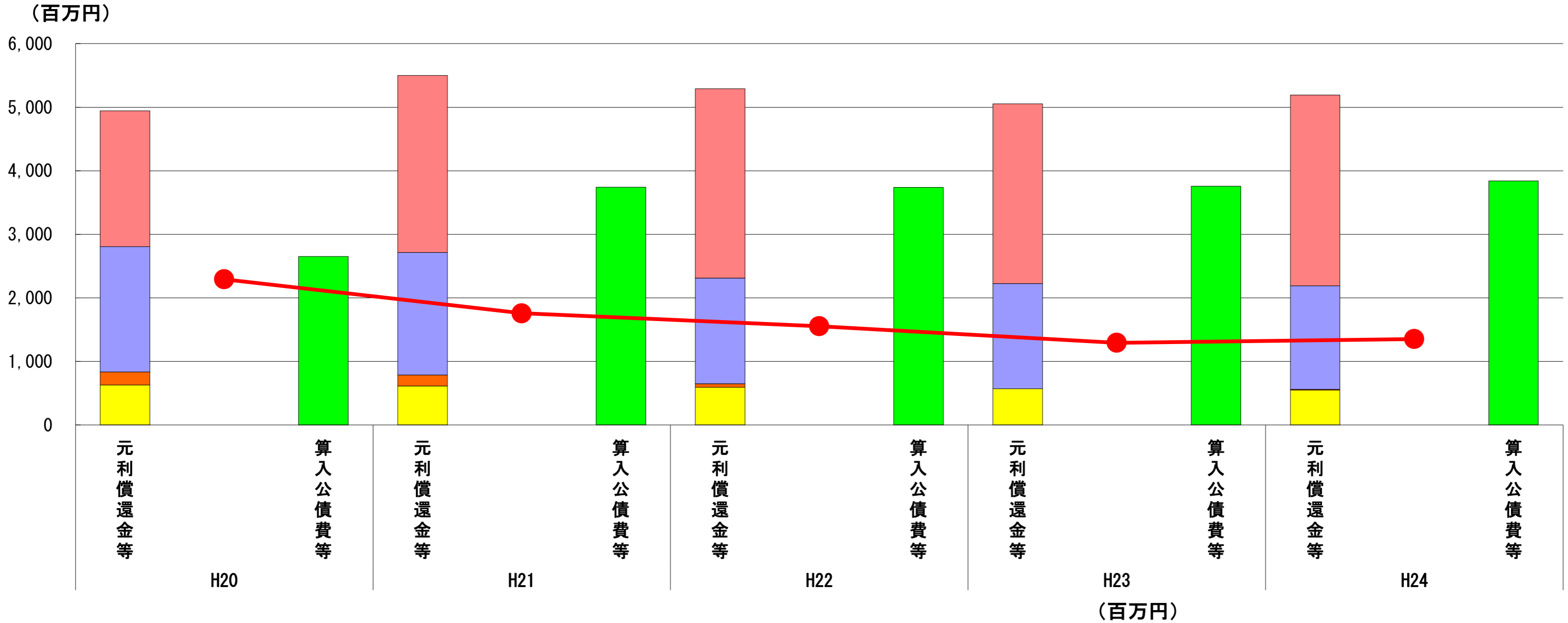


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

愛知県東海市



分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
元利償還金等 (A)	元利償還金		2,138	2,785	2,981	2,830	3,002
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,971	1,928	1,662	1,653	1,628
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		205	175	58	0	12
	債務負担行為に基づく支出額		629	612	591	570	550
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		2,651	3,743	3,738	3,759	3,841
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		2,292	1,757	1,554	1,294	1,351

**分析欄**

実質公債費比率の分子については、元利償還金が前年比約1.7億円増加したこと等により、元利償還金等(A)全体としては約1.4億円の増加となった。

算入公債費等(B)の値も約0.8億円増加したため、実質公債費比率の分子は約0.6億円の増加となった。

今後は、借入利率の見直し等を行い、元利償還金の圧縮に努める。

※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。